

「ドラえもんから学ぶこと」

校長 安藤 徹



6月に入り紫陽花（あじさい）の花も蕾（つぼみ）を膨らませてきました。カレンダー上での1年間を考えると6月で令和4年も半分が過ぎてしまうことになるのですね。早いものです。

6 June 2022						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

カレンダーといえば、昔「ドラえもん」という国民的人気アニメの中で『6月には祝日が1度もない!』と怒ったのび太君がドラえもんのひみつ道具の「日本標準カレンダー」を使って6月2日を「ぐうたら感謝の日」と制定し、休日にしてしまった・・・なんていう場面があったことを思い出しました。

ところでこの「ドラえもん」というアニメの登場人物から私たちはいろいろなことを学べるような気がします。みなさんはどう思いますか？

というのは、特に勉強もスポーツも大の苦手な、ぐうたらなのび太君が、どうして大人になってしずかちゃんと結婚して、幸せな人生を送れたのか？それには、こんな秘密があったからだといわれています。

『のび太君が夢をかなえることができたのは・・・心配なことを考えすぎなかったから』

ドラえもんの道具を使いながらつい調子にのりすぎて失敗してしまうことが多いのび太君は、先々のことを考えない、周りの人からよく言われる「困った子」なのかもしれません。

でも、もちろん何かを計画し実行する時には、最悪の状況も予想してその対策を考えておくことは大切ですが、逆に心配し過ぎて自分の手足をがちがちにしぼっては何の行動も起こせません。そんなふうに委縮してしまっている人に必要なのが『のび太君の単純さ』だと思います。「あーだ、こーだ」といろいろなことを頭で考えるばかりで、実際にはなんの行動も起こさないままだとにかく何も成長しません。時にはのび太君のように、先のことはあまり考えないで、今やりたいことに全力をつくしてみる行動力も必要なのです。現代のような情報化社会ではいろいろな情報をもとに考えすぎてしまい、その結果行動するまで悩んだり心配してしまうことが多いですからね。でも、のび太君のある意味勝手気ままさや無鉄砲さも時には大事ななのかもしれません。

そして、主人公のドラえもんについては

『ドラえもんからは、どうしたら人を動かせるのか、人をやる気にさせられるかを学びましょう』

のび太君は、学校の成績は悪く、スポーツもだめで、なまけ者というキャラ。そんなのび太君のやる気や目標を引き出すのがドラえもんの役目です。ドラえもんは毎回「ひみつ道具」を出してのび太君を助けますが、実は、それがすぐに直接問題の解決につながっているわけではないのです。必ず、先の行動はのび太君に考えさせて、物語の最後には、必ずのび太君自身の力で問題を解決させているのです。人をうまく動かしたりやる気にさせるためにはこのドラえもんのように、全てを手助けするのではなく、きっかけとなるヒントだけを与えることが大切になるのです。

さて、4月にもお伝えしましたが、今年度の岩戸養護学校のめざすテーマの一つとして「自律した生徒の育成」ということを掲げています。のび太君のようにまずは動いてみようとする「行動力」を身につけ、ちょっとした周囲からのアドバイスや助けをもとに「自分で考え行動してみる習慣」こそが自律につながっていくのではないかと考えています。

令和4年6月1日